

1. 件 名：実機材研究貸与に関する意見交換
2. 日 時：令和2年10月5日(月)13時30分～14時30分
3. 場 所：原子力規制庁 16階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋上席技術研究調査官

河野主任技術研究調査官

橋倉技術研究調査官

北條技術研究調査官

船田技術参与

高倉技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構：2名

原子力エネルギー協議会：1名

関西電力株式会社：1名

九州電力株式会社：2名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材材料等を活用した経年劣化評価・検証事業」（令和2年度から6年度予定）において監視試験片を使用した研究を実施するため、提供可能時期等に関する、現在の状況について九州電力株式会社より説明があった。

監視試験片について、玄海原子力発電所2号機の廃止措置工程における監視試験片取出しスケジュール案について説明があり、令和3年度中に取り出しが見通せることから、貸与依頼先を九州電力株式会社の玄海原子力発電所2号機として今後計画することとした。

また、これまで協議してきた規制庁と電気事業者間での提供依頼文書の記載内容について、引き続き協議することとなった。

6. その他

提出資料：特になし。